

日々 往来



大山 陽久

消費者トラブルが多様化する時代、実直な鳥取県人にも、さまざまな形で詐欺の手が迫っている。「金融リテラシー調査」結果によると、鳥取県で金融トラブルに遭遇した人の割合は9・8%と全国ワースト4位、とくに金融知識が乏しい若年層への金銭・金融教育は大きな課題である。

県消費者生活センターでは昨年度から、「小・

金融教育 高校生向け「巣立ちセミナー」

中・高等学校における消費者教育の一層の推進が、鳥取育ちの若者が無事に巣立っていくことを金融教育面から一つの重点項目と位置付け、小中学校等で活用できるとして注力している。

一方、就職や進学等で卒業とともに親元を離れるケースが多い高校3年生向けには、卒業前に金銭・金融面で独り立ちできるようにする、いわゆる「巣立ちセミナー」の実施が全国的に広がってきている。

鳥取県金融広報委員会でも、6月1日に開催した年次総会で、こうした「巣立ちセミナー」を来年度から希望高校の授業として実施できるように、検討部会を設置して具体的な準備を進めることとなった。成人年齢引下げ法案の国会上程も議論

される中、鳥取育ちの若者が無事に巣立っていくことを金融教育面から一つの重点項目と位置付け、小中学校等で活用できるとして注力している。

日付辞令で鳥取から離れることとなった。鳥取勤務丸4年の間にいろいろ経験・勉強させて頂いたが、小生にも巣立ちの時間が来たようだ。皆さまのおかげで、充実した鳥取生活を過ごすことができましたこと、この場を借りて、心から厚く御礼申し上げます。

(日本銀行鳥取事務所 長)

※金融リテラシー調査については、2016年8月15日付当コラム「金融知識・判断力を高めよ」を参照下さい。日